

「こうやったら出来るよ」

2歳児の子どもたちが、3歳児のおにいちゃんおねえちゃんたちに、ズボンからはみ出たシャツの直し方を見せてもらう機会がありました。



自分でやろうとする意識が広がってきた2歳児の子どもたち。



そんなある日、3歳児のTくんが得意そうな表情で立ち止まりました。

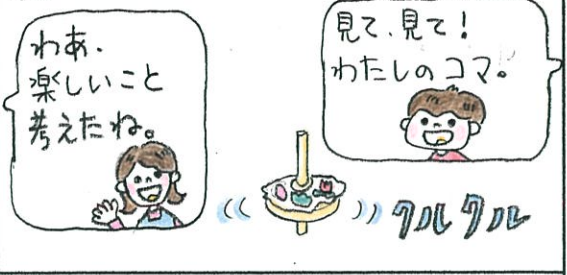


これまで、シャツがはみ出ている、あまり気にならなかったTくんが、自信に満ちた笑顔を見せてくれました。

大きい子と小さい子が、さまざまな場面できかわり合いながら、見て学んだり、感じたりすることが、いっぱいあることは、改めて気がかされました。

「きれいに回るね」

5歳児のYちゃんが、こまの上に好きな絵を描いた紙を乗せてあそんでいました。



うすまき模様を描いた紙を渡すとYちゃんは目を輝かせました。



思い思いの模様を描いてあそびを発展させる子どもたち。イメージの世界は友だちとのかかわりの中で、どんどん広がっていきました。

色や形だけでなく、音も楽しもうとする子どもたちの感性の豊かさを大切にしていきたいと思いました。